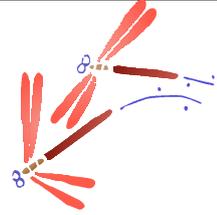


みなかみ町立藤原小学校 学校だより



みなもと



第9号 令和6年10月8日(火)

## 10月の目標

10月7日(月)の児童集会で、高学年児童から今月の目標が発表されました。今月の目標は読書。1ヶ月に高学年は「100ページ以上の本を3～5冊読む」、低学年は「20～40ページ以上の本を2冊以上読む」ことが具体目標のようです。夜が少しずつ長くなる秋。私も子ども達と一緒に、読書の秋を楽しみたいと思います。

## 谷川登山 みなかみユネスコエコパークについて考える



9月19日(木)に、谷川登山に行ってきました。前日の夜からまさかの雨。当日も雨は降り続き、実施か否かの判断に苦しめられました。当日の朝、みなかみ町の担当者と協議を実施。そこで、雨が続いた場合でも児童の安全が確保できるコースに変更できることが確認されました。

現地に着くと、明るく開けた視界が保たれており、ほどよい涼しさのある過ごしやすい環境でした。こうした環境の中で、雨の日だからこそ見られる、水源の地の水の豊かさとその理由を学んでくることができました。

帰りのバスの子どもの笑顔からも、充実した体験学習であったことを感じる事ができました。

## マラソン大会！

## 声援をありがとうございました



10月2日（火）に、マラソン大会を行いました。学校で行うマラソン（持久走）について、教育活動の指標である学習指導要領には次のように記載されています。「無理のない速さで、〇〇分走る（低学年＝2～3分・中学年＝3～4分・高学年＝5～6分）」。これをもとに、マラソン大会のコースを見直し、今年から距離を短くして学校敷地内で実施することにいたしました。

当日は、保護者をはじめ17名の方に、声援をいただきました。このおかげで、子ども達は、いつも以上の実力を発揮して、最後まで走り抜くことができました。

本校では、マラソン（持久走）は、一定のペースで走る過程で仲間と協力したり楽しんだりすることで、体力の向上や生涯スポーツに繋げていくことを目標としています。

大切な指導内容である一方、群馬県教育委員会の業務改善提言R5では、マラソン（持久走）大会の体育の授業中や校地内での実施などによる、安全確保にかかる教職員配置、保護者の動員など、大会の準備・運営の負担



を軽減することが記載されています。

教育目標と業務改善の両立を目指して、マラソン大会の運営の仕方については、今後も検討を重ねて参りたいと思っています。保護者や地域の皆様の声を聞かせていただくこともあるかと思いますので、その際は、よろしくお願いいたします。

## 伝統の技を受け継ぐ

## 大利根源流太鼓の練習始まる！



出だしは上々！

9月17日（火）、今年度の大利根源流太鼓の練習が本格的に始まりました。

初回の練習にあたり、浅岡秀行さん、中村みゆきさんの2名の藤原小応援団の皆さんに、ご指導をいただきました。

最初に浅岡さんから楽譜のリズムを教えいただきました。浅岡さんは、ここは「ドンドコドン」、ここは「ドコドンドン」、ここは「スットントン」とリズムよく話して教えてくれます。昨年体験している子達は、浅岡さんの言葉にうなずきながら、スムーズにリズムを確認をしていきます。初めての太鼓になる、1年生の太晴くんは、ちょっぴり緊張しながら

ら聞いています。練習には、各自が目標をもって取り組んでいる様子でした。

この後も練習を積み重ね、11月6日（水）に郡小中学校音楽発表会で、他地域の児童生徒と発表を聴き合います。その後、11月13日（水）の藤原祭で保護者や地域の皆さんにも、ご披露いたします。太鼓を演奏する子ども達は、とてもかっこいいです。鳴り響く太鼓の音色は、とても力強いです。藤原地区の伝統を受け継ぐ子どもたちの姿と太鼓の音色を、お楽しみにしてください。